

スタートアップガイド



使用上のご注意

本製品を取り扱う前に本書の説明を良くお読みください。
本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。本書は必要な時にすぐに参照できるように、お手元において置くようにしてください。
本書は大切に保管してください。

安全に関わる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。
本書には本製品のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。本書では、危険の程度を表す言葉として、【警告】と【注意】という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	警告	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
	注意	火傷や怪我等を負う恐れや物的損害を負う恐れがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生する恐れがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: プラグを抜く

(本書での表示例)

注意を促す記号 危険に対する注意の内容 危険の程度を表す用語

	警告
	インターフェースは確実に固定する ビデオケーブル、変換コネクタ等を接続したら、ねじ止め等のロックを確実に行ってください。接触不良を起こし、発煙や発火の原因となる恐れがあります。

本書およびラベルで使用する記号とその内容

	発煙又は発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれのあることを示します。
	高温による障害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従って操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災の恐れがあります。		



856-129437-001-00P

安全上のご注意

一般的な注意事項



警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されていません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負い兼ねます。

本体装置の警告、注意事項に従う

本製品を使用する際は、必ず本体装置の警告、注意事項に従ってください。

煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙や異臭、異音が生じた場合は、ただちに本体装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



注意

日本国外で使用しない

本装置は、日本国内用として製造販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。

装置内に水や異物を入れない

本体装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因になります。もし入ってしまったときは、すぐに電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

設置・保管・接続に関する注意事項



注意

指定以外の場所に設置・保管しない

本製品を次に示す場所や、本体装置で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ・ほこりの多い場所。
- ・給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・不安定な場所。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の発生する場所に設置し、使用しないで下さい。またほこり中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないで下さい。装置内部のプリント版が腐食・ショートし、火災の原因となる恐れがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

電源プラグを差し込んだまま本製品やインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

本製品やインターフェースケーブルの取り付け／取り外しは、本体装置の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインターフェースケーブルを使わない

インターフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続するモニタやコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のものを使用したり接続先を誤ったりすると、ショートにより火災をおこすことがあります。また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ・破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ・ケーブルを踏まない。
- ・ケーブルの上に物を載せない。
- ・ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ・破損したケーブルを使用しない。

インターフェースは確実に固定する

ビデオケーブル、変換コネクタ等を接続したら、ねじ止め等のロックを確実に行ってください。接触不良を起こし、発煙や発火の原因となる恐れがあります。

電源・電源コードに関する注意事項

警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で本体装置の電源プラグの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧でアース付きのコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。
また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様にあてはまらないコードに接続すると、コードが加熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、加熱して火災の原因となるおそれがあります。



電源ケーブルを持って引き抜かない

ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- ・コード部分を引っ張らない。
- ・電源コードをはさまない。
- ・電源コードを折り曲げない。
- ・電源コードに薬品類をかけない。
- ・電源コードをねじらない。
- ・電源コードの上にものを載せない。
- ・電源コードを踏まない。
- ・電源コードを束ねたまま使わない。
- ・電源コードを改造・加工・修復しない。
- ・電源コードをステーブラなどで固定しない。
- ・損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)



添付の電源コードおよびACアダプタを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードおよびACアダプタは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないで下さい。火災や感電の原因となるおそれがあります。

取り扱い・お手入れに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

注意



高温注意

本体装置の電源をOFFにした直後は、本製品を含め、装置内の部品が高温になっています。十分に冷えたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

運用中の注意事項

注意



雷がなったら触らない

雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないで下さい。落雷による感電の恐れがあります。

製品の譲渡と廃棄について

●第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

・ゼロクライアントについて

本製品を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、装置に添付されている説明書一式（本書含む）を一緒にお渡しください。

・添付のソフトウェアについて

- ー 本製品に添付のソフトウェアを第三者へ譲渡（または売却）する場合には、すべてを譲渡し譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- ー ソフトウェアに添付されているソフトウェアのご使用条件の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

●本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、各地地方自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体にお問合せください。

情報サービスについて

・ <http://www.nec.co.jp>

NEC 製品に関するさまざまな情報が盛りだくさんのホームページです。是非お立ち寄りください。

・ <http://club.express.nec.co.jp>

Express5800 シリーズをご利用のお客様を対象にさまざまな特典やサービスを提供する ClubExpress のホームページです。

お客様登録や、登録の変更も出来ます。

・ ファーストコンタクトセンター

TEL 03-3455-5800（代表）

受付時間 / 9:00～12:00、13:00～17:00

月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

・ その他

本製品を安全に正しく取り扱うための説明や、注意事項は、[ユーザーズガイド]で詳しく記載されています。
また、InternetExplorer や FireFOX でホストボードやポータルに接続する際の[CA ルート証明書]は web にて取得できます。

[ユーザーズガイド]

<http://support.express.nec.co.jp/usersguide/UCopt/N8005-FS91/>

<http://support.express.nec.co.jp/usersguide/UCopt/N8020-01/>

[CA ルート証明書]

<http://support.express.nec.co.jp/dload/remotegraphics/index.html>

スタートアップガイド

箱を開けてからゼロクライアントを使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品が揃っていることを確認してください。

N8020-01 ゼロクライアント用ポータル

ポータル



AC アダプタ



AC ケーブル



スタビライザ

ネジ(2本)



N8020-02 ゼロクライアント用ポータル

キーボード/マウス

N8020-01に加えて、キーボードとマウスが添付されます。



N8005-301/FS91 ゼロクライアント用ホストボード

ホストボード



DMS59 分岐ケーブル



リモート電源ケーブル(2本)

接続する本体装置によって、黒色のコネクタが2ピンと3ピンのケーブルを使い分けます。



はじめに 1 ページ目の使用上の注意を必ずお読みください。

安全に関する大切な注意事項が記載されています

添付品を確認する(続き)

装置をセットアップする前には、1 ページからの使用上のご注意をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

D-sub15 ピンインタフェースのディスプレイをポータルに接続する際は、DVI-VGA 変換アダプタ(N8005-1001)をご購入ください。DisplayPort に DMS59 分岐ケーブルを接続する際は、DP-DVI 変換ケーブル(N8005-1003)をご購入ください。ネットワークケーブルは添付しておりません。別途ご購入ください。

保証書(N8005-301/FS91、N8020-01/02)を単品で出荷時のみ添付

フリーセクション等で本体装置組み込み出荷時には

本体装置添付の保証書にて保証されます。

スタートアップガイド (本書)

※本製品を安全に取り扱うための注意事項より詳しい説明が記載されている[ユーザーズガイド]と、Internet Explorer や FireFox でホストボードやポータルに接続する際の[CA ルート証明書]は web にて取得できます。“情報サービスについて”をご参照ください。
また、PDF ファイルの閲覧には、本体装置に添付されている[EXPRESS BUILDER]に閲覧用ソフトウェアが準備されていますので、インストールしてご使用ください。

※本装置のそばでは携帯電話や PHS、ポケットベルの電源を OFF にしておいて下さい。電波による誤動作の原因となります。

※オプションは本体に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえば本体に取り付けや接続ができて正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。

※オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものがありませんが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保障期間中でも有償修理となります。

※ポータルは縦置きで使用します。横置きでは使用できません。

安全に関するご注意

カードを実装する

※フリーセクション等にて Express ワークステーション本体にホストボードを組み込み済みの場合は 3. へ、ポータルのみの増設の場合は 4. へ、読み飛ばしてください。



警告

- カードの取り付け・取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触らないで下さい。落雷による感電の危険があります。

1. カードを実装する

※フリーセクション等にて Express ワークステーション本体にホストボードを組み込み済みの場合は 3. へ、ポータルのみ増設の場合は 4. へ、読み飛ばしてください。

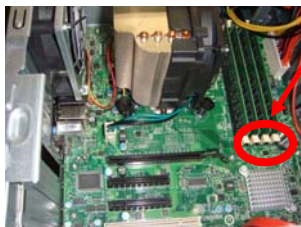
Express ワークステーション本体の PCI ボードの組込方法を参照して、PCI-Express x1 スロットに接続対象のホストボードを実装してください。

1. 本体装置カバーを取り外してください。
2. 増設スロットカバーを固定しているネジ、もしくはリテンションスプリングを取り外してください。
3. 増設スロットカバーを取り外してください。
4. 接続対象となるホストボードを PCI-Express x1 スロットに接続してください。



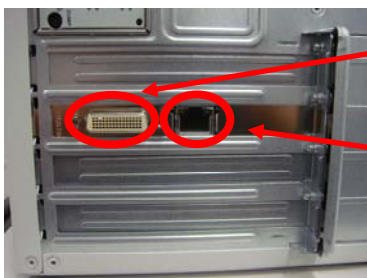
PCI-Express x1 スロット
に本体を奥までしっかり差し込む

(注) メモリスロットが近くにある場合、メモリロックレバーがきちんと起きていることを確認して接続してください。



メモリロックレバー

5. 接続後、ボードがスロットにしっかりささっていることを確認して、ネジ等で固定してください。



DMS59 コネクタ

イーサネットコネクタ

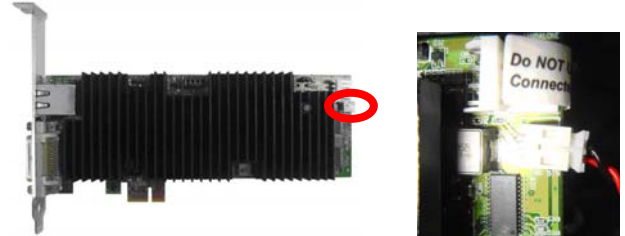
6. 本体装置カバーを取り付けてください。

2. リモート電源ケーブルを接続する

※フリーセクション等にて Express ワークステーション本体にホストボードを組み込み済みの場合は 3. へ、ポータルのみ増設の場合は 4. へ、読み飛ばしてください。

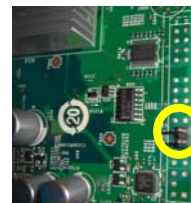
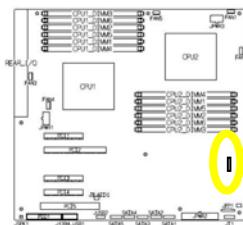
ポータルのリモート PC ボタンで Express ワークステーション本体装置の電源を操作するには、本体装置のマザーボード上のコネクタとホストボードのリモート電源ケーブルの接続が必要になります。マザーボード上のコネクタの位置と使用するリモート電源ケーブルは本体装置ごとに異なります。

1. ホストボードにリモート電源ケーブルを接続してください。



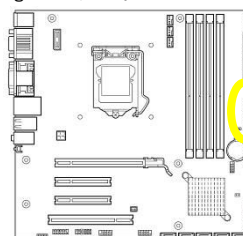
2. 本体装置カバーを取り外してください。
3. 本体装置のマザーボード上のコネクタにリモート電源ケーブルを接続してください。

56Xf のマザーボード上のコネクタに「電源ケーブル 3 ピン」を接続



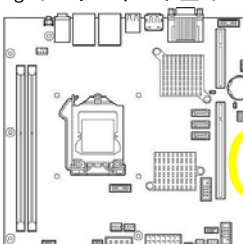
NC
GND(黒)
SW(赤)

54Xg のマザーボード上のコネクタに「電源ケーブル 3 ピン」を接続



NC
GND(黒)
SW(赤)

53Xg のマザーボード上のコネクタに「電源ケーブル 2 ピン」を接続



GND(黒)
SW(赤)

4. 本体装置カバーを取り付けてください。

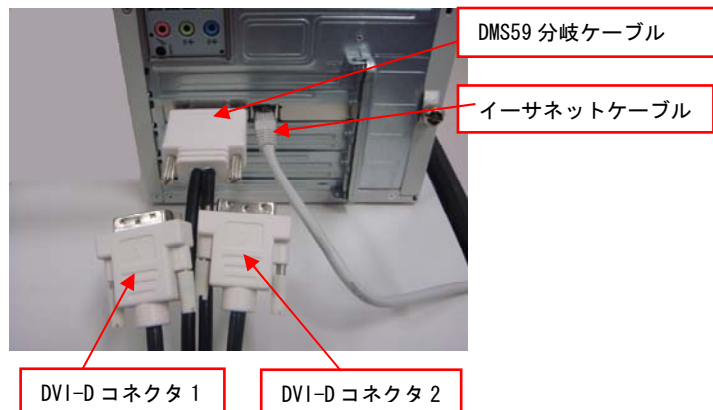
- ・ケーブルは 2 種類あります。本体装置にあったケーブルを使用してください。マザーボードと接続する黒いコネクタが 2 ピンと 3 ピンのケーブルがあります。
- ・ケーブルが部品に挟まらないように注意してください。
- ・ケーブルには極性があります。逆に接続すると、リモート電源操作ができなくなり、本体装置の電源が強制オフすることがあります。このような状態の時はリモート電源ケーブルの接続を確認してください。

3. ホストボードにケーブルを接続する

ホストボードの DMS59 コネクタに DVI 分岐ケーブルを接続し、PC のグラフィックス出力のプライマリ DVI コネクタへ DVI-1 コネクタを接続します。デュアルモニターで使用する場合は、グラフィックス出力のセカンダリ DVI コネクタへ DVI-2 コネクタを接続します。

・DMS59 コネクタは、隙間がないようにきっちりと挿し込み、ねじでしっかり固定してください。グラフィックス出力の DisplayPort 出力を接続する場合は DP-DVI 変換コネクタ (N8005-1003) を別途ご購入ください。

イーサネットケーブルを使用して、ホストボードのイーサネットコネクタにイーサネットスイッチもしくはルータを接続してください。



4. ポータルにケーブルを接続する

・アナログ接続 (CRT モニタ、LCD モニタ)

DVI コネクタ 1 に DVI-VGA 変換コネクタを接続した上で、DVI-VGA 変換コネクタ上の VGA コネクタにビデオケーブルを接続する。

・デジタル接続 (DVI 対応 LCD モニタ)

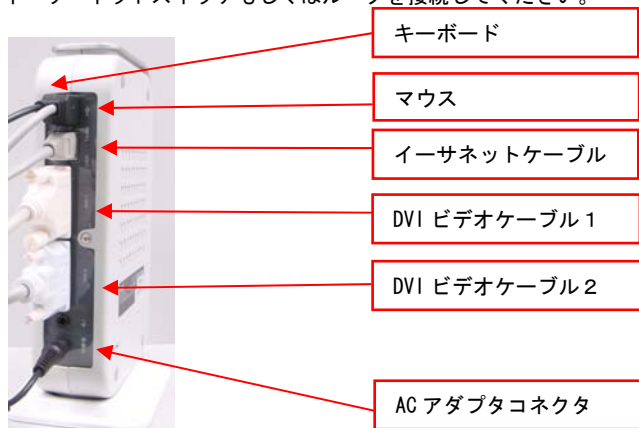
DVI コネクタ 1 にビデオケーブルを接続して下さい。

[Dual View (2 画面表示) について]

DVI コネクタ 1, 2 にビデオケーブルを接続して下さい。

・DVI-I コネクタ及び DVI-VGA 変換コネクタは、隙間がないようにきっちりと挿し込み、ねじでしっかり固定してください。D-sub15 ピンインタフェースのディスプレイを接続する際は、DVI-VGA 変換アダプタ (N8005-1001) をご購入ください。

イーサネットケーブルを使用して、ポータルのイーサネットコネクタにイーサネットスイッチもしくはルータを接続してください。



5. ポータルの電源ボタンの操作

ポータルの電源操作は、ポータル前面の電源ボタンで操作を行います。

・電源オン

電源オフ状態から、電源ボタンを短押し (2 秒以下) します。

・コネクションの切断

コネクト状態から、電源ボタンを短押し (2 秒以下) します。

・電源オフ

電源オン状態から、電源ボタンを長押し (2 秒以上) します。

ポータルの状態はポータル前面の 2 個の LED 表示で行います。

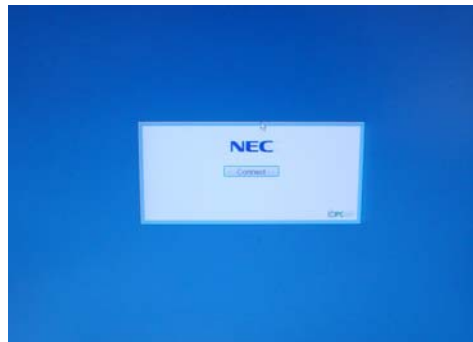
状態	AC オフ	DC オフ	起動 途中	起動 完了	コネ クト	セッシ ョン中 断
コネ クト LED	消	消	緑	消	緑	緑 or 消
電 源 LED	消	黄	消	緑	緑	緑点滅



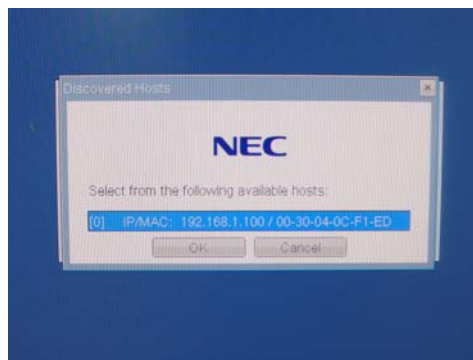
6. PCoIP の接続を確立する

本体装置のオペレーティングシステムのセットアップ終了後に、PCoIP の接続を確立します。

1. ポータルと本体装置を起動します。
2. ポータルのオンスクリーンディスプレイ (OSD) ユーザスクリーン上の「Connect」ボタンがアクティブになるまで待ってください
ポータルは電源ボタンを押すと電源オンオフします。
電源ボタンを 2 秒以上長押しすると、強制オフします。



3. ポータルに接続されたマウスを使用して、OSD スクリーン上の「Connect」をクリックしてください。「Discovering hosts, please wait...」というメッセージがモニターに表示されます。
4. ネットワーク上の利用可能なホストの一覧が OSD に表示されます。



5. 接続したいホストを選択して「OK」をクリックしてください。
6. 正常に PCoIP 接続が行なわれるとポータルの PCoIP の LED は緑色に点灯します。
7. デュアルモニターを使用している場合は、セカンダリモニター出力のためのグラフィックスカードの設定を忘れずに行なってください。
8. ホスト PC の起動が終了したら、通常のデスクトップ PC を使用するようにポータルを使用できます。

- ・ホストボードとポータルは初期状態で DHCP を使用する設定になっています。DHCP サーバが見つからない場合約 120 秒でタイムアウトし、デフォルトの IP が割り付けられます。初期状態での起動は時間がかかることがありますのでしばらくお待ちください。
- ・ホストボードのネットワーク設定は OSD で確認できます。
- ・ポータルのネットワーク設定は webIF で確認できますが、IP が不明な場合はジャンパでホストボードの初期化を行ってください。
- ・ホストやポータルの詳細設定は、Internet Explorer や Firefox でホストやポータルに接続する webIF で行います。詳細は「ユーザーズガイド」をご参照ください。[ユーザーズガイド] や webIF 使用時に使用する「CA ルート証明書」は web にて取得できます。詳しくは「情報サービスについて」をご参照ください。

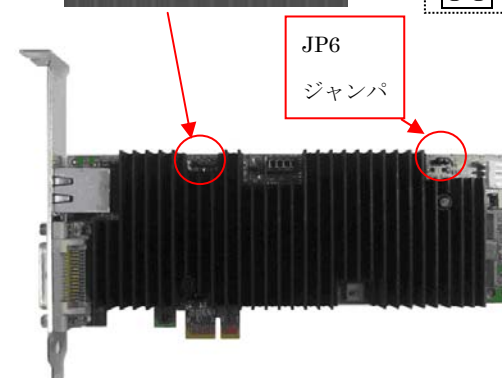
7. 設定を初期化する (ホストボード)

ホストボードとポータルを初期化する方法を記述します。
全ての設定が初期化され、初期状態での操作が可能になります。

ホストボードの初期化

1. ホストボードのジャンパを初期化の位置に設定します。

初期化時のみ、JP6 ジャンパのクリップを default ジャンパに挿入します。



2. ホストボードを本体装置に取り付けて本体装置の電源を入れます。
3. ハートビート LED が点滅した状態でホストボードが起動すると、初期化が完了します。(約 30 秒で起動します。)

	オフ	起動中	起動完了	コネク
LED1(リアパネル側)	消	赤	消	赤
LED2 (リモート電源コネクタ側)	消	赤	赤点滅	赤点滅

4. 本体装置の電源を切り、本体装置からホストボードを取り外します。
5. ホストボードの初期化のジャンパを外し JP6 に戻します。

クリップの位置は図の「通常の設定」を参照してください。

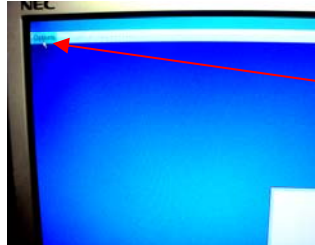
8. 設定を初期化する(ポータル)

ホストボードとポータルを初期化する方法を記述します。

全ての設定が初期化され、初期状態での操作が可能になります。

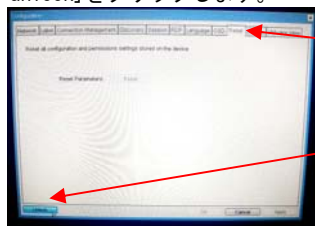
ポータルの初期化

1. ポータルの電源を入れてオンスクリーンディスプレイ (OSD) が起動するのを待ちます。
2. ポータルに接続されたマウスを使用して、OSD スクリーン左上の「option」をクリックします。



option

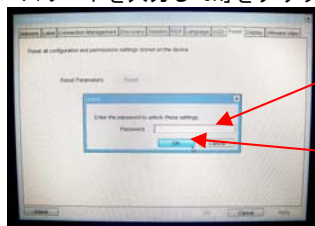
3. 「reset」タグをクリックします。
4. 「unlock」をクリックします。



reset

unlock

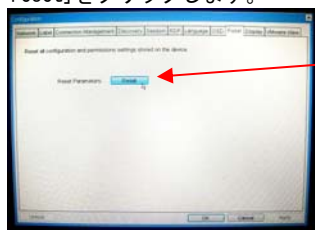
5. パスワードを入力し「OK」をクリックします。



パスワード

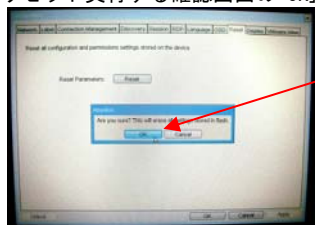
OK

6. 「reset」をクリックします。



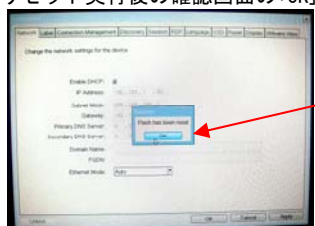
reset

7. リセット実行する確認画面の「OK」をクリックします。



OK

8. リセット実行後の確認画面の「OK」をクリックします。



OK